

IFCA 東京ユースチーム渡米プログラム・行程表

期間：2014年6月20日から29日まで（10日間）

[6/19 更新]

視察先：ワシントン州シアトル 合宿先：マウント・ベーカー

	行程 [視察先・会議・合宿、その他]	メモ
6・20（金）	東京チーム、シアトル到着 午後6時 [出迎え=峰下・粟津]	
6・21（土）	<p>チームづくりをかねたシアトル見学と自由時間の日。 ツアーガイドはシアトル・ユースチームの有志。 Pike Street Market など、シアトル市内の見学。昼食は自由。</p> <p>夕食：日米両チーム全員参加・粟津宅</p>	
6・22（日）	<p>Digital Story Telling Workshop using “Strategic Sharing” ストラテジックシェアリングを使ったデジタルストーリーテリング・ワークショップ (以下のリンクから、ストーリーテリングの例が見れます。) http://www.findyouthinfo.gov/feature-article/digital-stories-voices-foster-care-youth</p> <p>場所：University of Washington, Mary Gates Hall 時間：午前9時半から午後4時半まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 進行・指導は、シアトル・ユースチーム。ビデオ撮影あり。資料や筆記用具等、すべて配布される。 ◎ メソッドを日本に持ち帰り、メンバーが他のユースグループに教えられるようにするのが目的。 <p>場所を移動せず、University of Washington Champions Program のメンバーと昼食をかねた座談会 [ワシントン州立大学構内にある社会的養護の当事者のための就学・支援・メンタリング・プログラム] http://depts.washington.edu/omadcs/champions/</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 日米の当事者の就学・大学進学事情についての話し合い、質疑応答が予定されている。 ■ <u>東京チームが用意すること：自己紹介と質問事項[全員]</u> <p>ワークショップは昼食のあとも続行。</p> <p>夕食：日米両チーム全員参加・粟津宅</p>	

<p>6・23 (月)</p>	<p>Meeting with Attorney Casey Trupin 場所：Columbia Legal Service 時間：午前 10 時 30 分から正午まで http://columbialegal.org/advocacy/children-and-youth-project</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ケーシー・トゥルーピンさんと、同僚のユースの権利擁護の専門弁護士さんたちと会議。コロンビア・リーガル・サービスはフォスターケア訴訟『ブラム和解交渉』の弁護団。国連勧告について、質疑応答が予定されている。 ■ <u>東京チームが用意すること</u>： <ul style="list-style-type: none"> ▪ 自己紹介[全員] ▪ 国連勧告までの経緯と、その内容を会議の冒頭で取りまとめ話す。[麗衣] <p>Pioneer Square は、シアトル市内の歴史有る旧地域なので、その周辺を散策、レストランで<u>昼食</u>。</p> <p>午後：シアトルユースチームとの自由時間 (Smith Tower, International District)</p> <p><u>夕食</u>：日米両チーム全員参加・峰下宅 このバーベキューディナーに、<u>地域の里親</u>を招待する。</p>	
<p>6・24 (火)</p>	<p>King County Juvenile Court 場所：1211 E. Alder Street, Seattle, WA 時間：午前 8 時 30 分から 11 時 30 分まで http://www.kingcounty.gov/courts/JuvenileCourt.aspx</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ キング郡の少年裁判所は、未成年者の収容施設と同じ敷地内にあり、保護観察にかんする裁判が行われている。児童保護に関する裁判は“Dependency Case”と呼ばれ、同じ裁判所内で裁判手続きや審問が行われている。 ◎ 施設と、法廷内の審問の見学。 ◎ インディアン児童保護局のソーシャルワーカーたちの集まる部屋に移動。質疑応答。 ◎ CASA [Court Appointed Special Advocate] という要保護児童の特別擁護ボランティアのスーパーバイザーと会見。 ■ <u>東京チームが用意すること</u>：自己紹介と質問事項[全員] <p>YMCA Young Adult Services 場所：2100 24th Ave. S 担当者：Cacey Hanauer, Director of Foster Care Transitions 時間：午後 12 時から 2 時まで http://ymcayas.org</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ プログラム・ディレクターのケーシーさんと、同僚の ILP ケースマネジャーの方たちとの会談とオフィス見学。 ◎ YMCA は州から依頼されて、地域のフォスターユースの 	

	<p>自立支援事業(Independent Living Programs)を請け負っている。就学、就職、家探しなど、自立にかんするあらゆるサービスにアクセスできる、ワンストップ・センター。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>東京チームが用意すること：自己紹介と質問事項[全員]</u> <p>同じビルの中の Fare Start Café で昼食。 http://www.farestart.org フェアスタート・カフェは、ホームレスユースなどの職業トレーニング、就業を援助している。 そのなかでも“Youth Barista Program”は、多くのフォスターユースが措置解除後、最初の仕事に就くのを援助している。 時間：午後2時から3時</p> <p>移動無し、そのまま、Treehouse のオフィスへ。</p> <p>Treehouse 場所: 2100 24th Ave. S/Suite 200 担当者 : Jessica Hauffe, Executive Program Coordinator 時間 : 午後3時から5時まで http://www.treehouse4kids.org</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ Treehouse のふたつのプログラムの柱：フォスターケアの下に育つ子どもたちとユースのための、教育サポート/アドボカシーのプログラムの他に、ウェアハウスなどの物資を提供するプログラムがある。 ◎ ジェシカさんと何名かのオフィスの方たちが、プログラムの解説。各プログラムの現場を見学。 ◎ 日米の当事者の学校教育についての話し合い、質疑応答の可能性あり。 <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>東京チームが用意すること：自己紹介と質問事項[全員]</u> <p>夕食：日米両チーム全員参加・粟津宅</p>	
6・25(水)	<p>午前中：Youth Summit の準備 場所：粟津宅 時間：午前9時30分から午後12時30分 1時に会場へ→ セットアップ</p> <p>Youth Summit “Toward a Global Conversation: Perspectives of Japanese and American Alumni of Care on System Reform” 場所：University of Washington HUB 会議室 250 時間：午後2時から5時まで</p> <p><u>プログラム</u> [Part I]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ IFCA 代表理事開会挨拶： Miho Awazu 5分 ▪ Eric Steiner (Casey Family Programs-Youth Employment Advisor) による、オープニング・スピーチ 15分 	

	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ユース・キーノート・スピーチ：Janice Cole 15分 ▪ 東京ユースによる発表：データとパーソナル・ストーリーによる、日本のフォスターケアの現状の解説（進行はシアトルユース1名）50分 <p>休憩 15分</p> <p>[Part II]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ ユース・キーノート・スピーチ：Tim Bell 15分 ▪ パネル・ディスカッション：東京ユース5名、シアトルユース3名（進行はシアトル・ユース2名）45分 ▪ 会場との質疑応答 15分 ▪ IFCA 理事閉会挨拶：Taku Mineshita 5分 <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>東京チームが用意すること</u>：Part I 東京ユースによる発表の部分の原稿を書く。[全員] ◎ このサミットは、地域の里親/親族里親の“養育者継続教育(Continuing Education)”の単位になる。 ◎ 配布資料には、当日のプログラムと日米ユースチーム全員のプロフィール。そして、日本のフォスターユースに関する資料、ユースブログとファンドレイジングの広報が入る予定。 ◎ 逐語通訳が入るのは、東京ユースの登壇する部分のみ。あとは、すべてウィスパリング通訳。ティムとジャニスのスピーチ内容は、まえもって東京ユースメンバーと共有される。 	
6・26（木）	<p>Youth Source 場所：Renton Community Services Office 500 SW 7th St., Suite 100, Renton, WA 時間：午前10時から11時30分まで http://www.kingcounty.gov/socialservices/Employment%20and%20Education%20Resources.aspx</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ シアトルの南の地区のユースの職業トレーニングと就業プログラムを見学、担当の方との会談。 ■ <u>東京チームが用意すること</u>：自己紹介と質問事項[全員] <p>Mockingbird Society Youth Network 場所：2100 24th Ave. S Mockingbird Society Office 担当者：Fred Kingston, Youth Programs Director 時間：午後12時30分から2時30分まで http://www.treehouse4kids.org</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ モッキンバード・ソサエティ・ユースネットワークはワシントン州全体にひろがる、当事者ユースのアドボカシー運動 ◎ ユースプログラムのディレクターのフレッドさんと、ユースの有志10名が、IFCA ユースチームと合同ランチと交流会。その後、ラウンドテーブル会議 ◎ 日米の当事者アドボカシー運動についての話し合い、質疑応答があります。 ■ <u>東京チームが用意すること</u>：自己紹介。[全員] 	

	<p>この後、すぐマウントベーカーに移動</p> <p>5時頃、合宿の現地、マウント・ベーカーに到着。 チームで夕食づくり。</p> <p>夕食のあとは会議と自由時間。</p>	
6・27（金）	<p>終日 シアトル・ユースチームと自由時間をはさんだ チームづくりと会議</p> <p>議題については、こちらに来てからユースプログラムのディレクターによるアジェンダの説明がある。</p> <p>チームで夕食づくり</p>	
6・28（土）	<p>チームで朝食</p> <p>シアトル/東京ユースチームがシアトルへ戻る。</p> <p>午後6時までに Seatac 空港にチェックイン。</p> <p>午後8時の便で東京チーム、シアトルを出発</p>	
6・29（日）	<p>午後10時20分 東京チーム、羽田に到着</p>	